

平成 29 年度
歳入歳出決算審査意見書

富山県後期高齢者医療広域連合監査委員


富高連監第5号

平成30年7月5日


富山県後期高齢者医療広域連合
広域連合長 高橋 正樹 様

富山県後期高齢者医療広域連合

監査委員

高長清則 

監査委員

箱畑 修 

平成29年度富山県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者
医療事業特別会計歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された富山県後期高齢者医療広
域連合一般会計及び後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算を審査した結果につ
いて、次のとおり意見書を提出します。

平成 29 年度富山県後期高齢者医療広域連合一般会計及び
後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の期日

平成 30 年 7 月 5 日

2 審査の方法

決算審査は、広域連合長から提出された決算書に基づき、広域連合議会で議決された科目によって適正に作成されているか否かを確認し歳入歳出簿と計数照合を行うとともに、証拠書類並びに歳入歳出決算事項別明細書等の審査を行い、関係職員の説明を求める等して審査を行った。

3 審査の結果及び意見

審査に付された「富山県後期高齢者医療広域連合一般会計」及び「後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算書」並びに附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成され、かつ決算計数は歳入歳出簿、証拠書類及び諸帳簿と符合して正確であり、予算執行並びに事務処理全般についても適正かつ効率的に処理されていることを認められた。

我が国の人口構成は他国に類を見ないスピードで少子高齢化が進んでおり、2025（平成 37）年には、いわゆる「団塊の世代」が全て 75 歳以上となる一方で、生産年齢人口は減少していくことが見込まれる。平成 28 年 12 月の社会保障制度改革推進本部で決定された今後の社会保障改革の実施については、保険料軽減特例の段階的縮小を着実に進めていくこととし、今後も、受益と負担の均衡がとれた持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革を推進していくとしているところであるが、高齢化のより一層の進行、高度先端医療の普及などにより、今後も厳しい財政運営が続くことが予想される。

そのような状況の中で富山県後期高齢者医療広域連合としては、被保険者が安心して医療サービスを受け続けることができるよう、国、県及び市町村との連携、協力を深めながら、現制度の安定した運営を実施するため、今後とも積極的な歳入の確保に努めるとともに事業の執行に当たっては限りある財源を有効に活用し、歳入歳出両面についての改善を図り、規律ある財政運営を図られたい。

後期高齢者医療制度について、被保険者をはじめ、様々な世代の方の正しい理解が重要であり、ホームページ等を活用し、広報活動の充実を図られたい。

行政機関個人情報保護法等改正法が成立したことを踏まえ、要配慮個人情報、個人識別符号等、個人情報の管理について万全を期されるよう配慮願いたい。

医療費の適正化等に資するため、被保険者のニーズに沿った効果的な保健事業を推進していくために第 2 期データヘルス計画を策定したところであるが、特に新規事業である糖尿病性腎症重症化予防事業、フレイル対策事業については、専門的知識のある保健師等の配置が必要であり、より効果的に進められたい。

なお、決算の概要等は次のとおりである。

第1 決算の概要

(1) 決算規模

平成29年度の一般会計の予算現額は、143,450千円であり、これに対する決算額は、

歳入	143,455,988円	(予算額に対する割合	100.0%)
歳出	140,295,422円	(予算額に対する割合	97.8%)
差引額	3,160,566円		

となっている。

また、平成29年度の後期高齢者医療事業特別会計の予算現額は、158,664,116千円であり、これに対する決算額は、

歳入	152,242,803,665円	(予算額に対する割合	96.0%)
歳出	151,202,351,568円	(予算額に対する割合	95.3%)
差引額	1,040,452,097円		

となっている。

(2) 決算収支状況

本年度の一般会計歳入総額から歳出総額を差引いた形式収支及び実質収支は、3,160,566円となっている。

また、本年度の後期高齢者医療事業特別会計歳入総額から歳出総額を差引いた形式収支及び実質収支は、1,040,452,097円となっている。

<一般会計決算収支状況>

(単位：千円)

年度	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	差引額 形式収支 (C)	翌年度に 繰り越す べき財源 (D)	実質収支 (E) (C) - (D)	前年度 実質収支 (F)	単年度収支 (G) (E) - (F)
H28	141,037	138,114	2,923	0	2,923	3,665	△ 742
H29	143,456	140,295	3,161	0	3,161	2,923	238

<後期高齢者医療事業特別会計決算収支状況>

(単位：千円)

年度	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	差引額 形式収支 (C)	翌年度に 繰り越す べき財源 (D)	実質収支 (E) (C) - (D)	前年度 実質収支 (F)	単年度収支 (G) (E) - (F)
H28	146,048,307	144,306,590	1,741,716	0	1,741,716	684,342	1,057,374
H29	152,242,804	151,202,352	1,040,452	0	1,040,452	1,741,716	△ 701,264

第2 一般会計

(1) 歳入

第1款 分担金及び負担金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不能 欠損額	収入 未済額	予算額に対 する増減	収入割合	
							対予算	対調定
H28	137,367	137,367	137,367	0	0	0	100.0	100.0
H29	140,524	140,524	140,524	0	0	0	100.0	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

市町村負担金

140,524,000 円

第2款 諸収入

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不能 欠損額	収入 未済額	予算額に対 する増減	収入割合	
							対予算	対調定
H28	2	4	3	0	0	1	150.0	75.0
H29	2	9	9	0	0	7	450.0	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

預金利子

328 円

雑入 (雇用保険料 (臨時職員負担分)

3,374 円

(複写代等)

5,160 円

第3款 繰越金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不能 欠損額	収入 未済額	予算額に対 する増減	収入割合	
							対予算	対調定
H28	3,665	3,665	3,665	0	0	0	100.0	100.0
H29	2,924	2,923	2,923	0	0	△ 1	100.0	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

前年度繰越金

2,923,126 円

(2) 歳出

第1款 議会費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
H28	1,010	670	0	0	0	340	66.3
H29	1,010	626	0	0	0	384	62.0

議会費の内訳は、次のとおりである。

議員報酬 519,946 円

費用弁償 106,000 円

第2款 総務費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
H28	139,151	137,443	0	0	0	1,708	98.8
H29	141,566	139,669	0	0	0	1,897	98.7

総務費の主な内訳は、次のとおりである。

派遣職員人件費負担金 126,118,625 円

一般管理費等 13,550,851 円

第3款 公債費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
H28	1	0	0	0	0	1	0.0
H29	1	0	0	0	0	1	0.0

公債費の支出は、なかった。

第4款 予備費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
H28	872	0	0	0	0	872	0.0
H29	873	0	0	0	0	873	0.0

予備費の充用は、なかった。

第3 後期高齢者医療事業特別会計

(1) 歳入

第1款 市町村支出金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不能 欠損額	収入 未済額	予算額に対 する増減	収入割合	
							対予算	対調定
H28	24,490,844	24,569,184	24,569,184	0	0	78,340	100.3	100.0
H29	25,826,064	26,140,820	26,140,820	0	0	314,756	101.2	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

[市町村負担金]

市町村事務費負担金	521,887,000 円
保険料負担金	10,593,083,370 円
保険基盤安定制度負担金	2,586,326,745 円
療養給付費負担金	12,318,786,222 円

[市町村補助金]

健康診査費補助金	120,736,728 円
----------	---------------

第2款 国庫支出金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不能 欠損額	収入 未済額	予算額に対 する増減	収入割合	
							対予算	対調定
H28	49,773,796	50,497,914	50,497,914	0	0	724,118	101.5	100.0
H29	49,773,796	50,497,914	51,609,123	0	0	1,835,327	103.7	102.2

収入済額の内訳は、次のとおりである。

[国庫負担金]

療養給付費負担金	36,738,211,775 円
高額医療費負担金	621,945,106 円

[国庫補助金]

調整交付金	13,314,701,202 円
後期高齢者医療運営懇話会費補助金	334,798 円
医療費適正化事業費補助金	2,402,000 円
高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金	866,166,392 円
特別高額医療費共同事業費補助金	4,809,429 円
後期高齢者医療災害臨時特例補助金	181,000 円
健康診査費補助金	60,371,000 円

第3款 県支出金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不能 欠損額	収入 未済額	予算額に対 する増減	収入割合	
							対予算	対調定
H28	12,092,622	12,152,850	12,152,850	0	0	60,228	100.5	100.0
H29	12,978,794	12,419,271	12,419,271	0	0	△ 559,523	95.7	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

[県負担金]

療養給付費負担金 11,682,890,412 円

高額医療費負担金 611,350,200 円

[財政安定化基金支出金]

財政安定化基金交付金 0 円

[県補助金]

後期高齢者療養費支給事務費補助金 4,295,550 円

健康診査費補助金 120,735,000 円

第4款 支払基金交付金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不能 欠損額	収入 未済額	予算額に対 する増減	収入割合	
							対予算	対調定
H28	57,542,893	57,967,680	57,967,680	0	0	424,787	100.7	100.0
H29	62,334,418	60,080,620	60,080,620	0	0	△ 2,253,798	96.4	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

後期高齢者交付金 60,080,620,000 円

第5款 特別高額医療費共同事業交付金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不能 欠損額	収入 未済額	予算額に対 する増減	収入割合	
							対予算	対調定
H28	23,328	19,239	19,239	0	0	△ 4,089	82.5	100.0
H29	20,883	17,073	17,073	0	0	△ 3,810	81.8	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

特別高額医療費共同事業交付金 17,072,561 円

第6款 財産収入

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不能 欠損額	収入 未済額	予算額に対 する増減	収入割合	
							対予算	対調定
H28	1,073	1,072	1,072	0	0	△ 1	99.9	100.0
H29	689	686	686	0	0	△ 3	99.6	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

後期高齢者医療事業財政調整基金分 686,353 円

第7款 繰入金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不能 欠損額	収入 未済額	予算額に対 する増減	収入割合	
							対予算	対調定
H28	4,323,106	0	0	0	0	△ 4,323,106	0.0	-
H29	4,046,159	0	0	0	0	△ 4,046,159	0.0	-

基金からの繰入金は、なかった。

第8款 財政安定化基金借入金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不能 欠損額	収入 未済額	予算額に対 する増減	収入割合	
							対予算	対調定
H28	1	0	0	0	0	△ 1	0.0	-
H29	1	0	0	0	0	△ 1	0.0	-

財政安定化基金借入金の収入は、なかった。

第9款 諸収入

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不能 欠損額	収入 未済額	予算額に対 する増減	収入割合	
							対予算	対調定
H28	162,508	158,663	156,025	0	2,638	△ 6,483	96.0	98.3
H29	166,539	236,518	233,495	0	3,023	66,956	140.2	98.7

収入済額の内訳は、次のとおりである。

延滞金	494,577 円
預金利子	362,512 円
第三者納付金	224,547,549 円
返納金・雑入	8,089,870 円

第10款 繰越金

(単位：千円、%)

年度	予算額	調定額	収入済額	不能 欠損額	収入 未済額	予算額に対 する増減	収入割合	
							対予算	対調定
H28	684,343	684,342	684,342	0	0	△ 1	100.0	100.0
H29	1,741,716	1,741,716	1,741,716	0	0	0	100.0	100.0

収入済額の内訳は、次のとおりである。

前年度繰越金	1,741,716,314 円
--------	-----------------

(2) 歳出

第1款 総務費

(単位: 千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
H28	530,140	508,102	0	0	0	22,038	95.8
H29	530,140	532,544	0	0	0	△ 2,404	100.5

総務費の内訳は、次のとおりである。

一般管理費	363,790,585 円
後期高齢者医療運営懇話会費	122,880 円
医療費適正化事業費	135,928,566 円
長寿・健康増進事業費	32,701,551 円

第2款 保険給付費

(単位: 千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
H28	145,421,221	140,907,609	0	0	0	4,513,612	96.9
H29	153,578,153	146,278,549	0	0	0	7,299,604	95.2

保険給付費の内訳は、次のとおりである。

療養給付費	143,767,883,741 円
訪問看護療養費	537,546,352 円
特別療養費	0 円
移送費	0 円
審査支払手数料	326,636,250 円
高額療養費	1,231,306,674 円
高額介護合算療養費	101,466,393 円
葬祭費	313,710,000 円

第3款 県財政安定化基金拠出金

(単位: 千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
H28	58,431	58,431	0	0	0	0	100.0
H29	59,059	58,431	0	0	0	628	98.9

県財政安定化基金拠出金の内訳は、次のとおりである。

県財政安定化基金拠出金	58,431,000 円
-------------	--------------

第4款 特別高額医療費共同事業拠出金

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
H28	23,418	19,665	0	0	0	3,753	84.0
H29	20,972	20,668	0	0	0	304	98.6

特別高額医療費共同事業拠出金の内訳は、次のとおりである。

特別高額医療費共同事業拠出金 20,579,779 円

特別高額医療費共同事業事務費拠出金 88,237 円

第5款 保健事業費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
H28	560,826	512,335	0	0	0	48,491	91.4
H29	542,122	541,834	0	0	0	288	99.9

保健事業費の内訳は、次のとおりである。

健康診査費 541,834,294 円

第6款 基金積立金

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
H28	343,245	343,244	0	0	0	1	100.0
H29	871,548	871,545	0	0	0	3	100.0

基金積立金の内訳は、次のとおりである。

後期高齢者医療事業財政調整基金積立金 871,545,353 円

第7款 公債費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
H28	37,000	0	0	0	0	37,000	0.0
H29	37,000	0	0	0	0	37,000	0.0

公債費の支出は、なかった。

第8款 諸支出金

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
H28	2,020,233	1,957,205	0	0	0	63,028	96.9
H29	2,906,161	2,898,780	0	0	0	7,381	99.7

諸支出金の内訳は、次のとおりである。

保険料還付金 21,200,400 円

償還金 2,876,932,013 円

還付加算金 647,500 円

第9款 予備費

(単位：千円、%)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費過次繰越	繰越明許費	事故繰越		
H28	100,000	0	0	0	0	100,000	0.0
H29	100,000	5,824	0	0	0	94,176	5.8

予備費の充用は、5,824,000円である。(5 保健事業費 1 健康診査費 13委託料へ充用。)

第4 基金

後期高齢者医療事業財政調整基金

基金残高 (平成29年3月31日時点)	7,191,699,661 円
積立 (繰越金に係る積立)	870,859,000 円
積立 (運用利子)	686,353 円
取崩	0 円
基金残高 (平成30年3月31日現在)	8,063,245,014 円

第5 財産 (車両及び物品)

- ① 保有車両はない。(リースで1台使用。)
- ② 備品の本年度末現在高は、昨年度末現在高より増減なしの32品である。